



# 森ボラ 通信

第 246 号 2022 年 11 月 20 日発行  
NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター  
TEL (fax.): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

## ■ 活動報告

### ◆ 野幌トトロップの森でオイスカ・ユネスコ共催「植樹祭」を支援

野幌森林公園は 2018 年 9 月の台風でトドマツやカラマツの人工林を中心に 75ha に及ぶ大規模な風倒被害が発生しました。このため被害跡地を風に強い多様な樹種の森林に再生するために国が「ボランティアの森林づくり」を募集した事を受け、森ボラはトド山口から少し入った国有林 49、50



林班 18.4ha を石狩森林管理署と協定書を結び、「野幌トトロップの森」として今年から森林整備活動を行ってきました。

そして、この地で 10 月 8 日にオイスカ・ユネスコ共催の植樹祭が開催され、森ボラが活動を支援しました。当日は青く澄んだ高い空と爽やかな空気に包まれた絶好の植樹日和となり、オイスカ・ユネスコ関係者 45 名、協会員 15 名の総勢 60 名が参加しました。



大窪さんの植樹デモの後、3つの班に分かれていよいよ作業開始です。植樹場所には予め針葉樹 150 本、広葉樹 150 本分の竹棒が立ててあり、広葉樹には鹿などによる食害防止のためにハイトシェルターを取り付けます。一番奥の場所（49 林班へ小班）は太い笹が繁茂していて地拵えが大変だったところで、植える穴を掘るのが大変ではと心配していましたが、参加した皆さんの予想外の奮闘により、予定の本数（針葉樹 152 本、広葉樹 147

本総計 299 本）を植える事が出来ました。後日参加者に感想を尋ねると、天気も良く大変気持ちの良い植樹祭だったと高評価で、来年の新たな植樹場所へのハードな地拵えの励みになる一日となりました。（文・松藤）

### ◆ 秋の清掃活動を実施

秋晴れの 10 月 13 日に恒例の「秋の清掃活動」が行われました。当日は澄川南小 5 年生 60 名、㈱じょうてつ社員 13 名、北海道森林環境局 森林活用課 2 名、当会会員 18 名、合計 93 名の大勢が参加しました。集めたごみは総重量 1.26t、タ



集めたゴミの前で㈱じょうてつ社員



熱心に清掃活動する澄川南小 5 年生

イヤ 20 本、冷蔵庫 1 台、灯油入りポリタンク 1 個が主な内容でした。参加された皆様、大変ご苦勞様でした。今後も清掃活動を継続して、森の環境が少しでも良くなるようにしていきたいと思ひます。（文・檀棒）

## ◆ 第5回親子森林教室“秋の森の大運動会”を開催

10月16日、第5回親子森林教室は青空が広がる爽やか好天の中で、森の運動会を開催して秋を存分に味わいました。参加者は森しり隊員8名と保護者7名、森ボラ協会員は17名、総勢32名です。

運動会は、森を歩きながら4つのミッションにチャレンジして、ゴールの避難小屋を目指しますが、ゴールの速さを競うものではなく、グループの仲間と力を合わせて行う事が眼目です。最初のミッションはあみだくじで決めて、それ以後は地図を見ながらどのミッションをこなすのかは自由。私は第2グループに付いて、隊員の後ろから邪魔をしないようにこのこついていきました。



最初のミッションAは「樹高と周長を測る」。まずは目測で隊員が数値を言います。木の高さは、木の周りは、・・・木の周りの長さは目測よりも意外と実測の方がありました。木の高さは簡易樹高測定器を使用し算出しますが、これも実測値の方が高く、木の高さは意外とあるのが分かりました。



次はミッションCの「土の中の観察」。スコップで落葉の下の土を掘り上げて観察です。小さな幼虫カブトムシ?ちょっと小さすぎるかな。小さな小さな白いキノコ、微生物の世界です。石炭ができた時代には木を分解するキノコはまだ地球上には存在しなかったもので、木は分解されずに石炭になりました。今はキノコが木のリグニンを分解することで森の掃除をしてくれているという加藤さんの話を聞きました。



最後のミッションBは「木を切る」。やわらかい木(朴の木)と、かたい木(イタヤカエデ)の2本がセットされています。ふと見ると、森しり隊員が自分専用のマイのこぎりを取り出して切っていましたよ。材木の切端を持ち帰り鍋敷を作成すること。木の硬さの違い、木の匂いを嗅ぎました。



森を移動中、葉っぱのビンゴ用の葉を、寄り道しながら高枝ハサミで採取。皆で歩いているとバッタを捕まえたりリスを発見。リスは冬支度で忙しそう、すぐに姿が見えなくなってしまいました。春の森しり隊で樹液が美味しかった・・・イタヤカエデの葉を採取。

時計は12時前なので避難小屋を目指しつつ、途中さらに葉っぱをとりながら、葉っぱのビンゴを完成させました。

昼食は暑くも寒くもない爽やかな、そして落葉がちらつく中で美味しく頂きました。

午後からは、森の活動フリータイムで、薪割り、木登り、そしてコクワ採りです。薪割用丸太をキンドリングクラッカーとカケヤで薪割りです。なれた手つきでバシバシ丸太を割っていく隊員や、カケヤが重くふらつく隊員などいろいろ。「がんばれー」の声援、薪が割れると皆さん拍手喝采です。



木登りは安全ベルト・フルハーネスを装着しロープで安全確保はしていますが、かなりの高さで



す。いつもは出来ない木登り、下界を見下ろすのは気持ちのいいもの。特に今の黄金色の紅葉はなかなか味わえないものです。

ほとんど実はないように思っていたコクワですが、みんなの目で探すと、それぞれ味わう程度は採れました。かなり熟して甘い自然の恵みを味わえました。帰りの途中で上流橋のホダ場でナメコも少し採れてお土産が出来て解散しました。(文・平)

## ◆ DIY・自作額に創立記念の日本手ぬぐいを飾る



酒井さんが森ボラ創立20周年を記念して作成された日本手ぬぐいを、額に収めて飾ったとの事。最後は棺桶に入れてもらえることになったと知らせてきた。

そこまで思いつめてはいませんが、10周年記念時の手ぬぐい同様、DIYで額を自作、「北海道の樹木20選」と併せ、20周年記念時の「澄川の山野草12選」の2本を飾る事が出来た。

10周年記念時の額は茶系に、今回、20周年記念は黒系に仕上げた。前面に使用の亚克力板の異常とも言える高騰と、近くのホームセンターが、36版のカットが不可との事で、や

むなく送料をかけて取り寄せDIY。引っ張っても少々の方では破れない和紙を見つけたので白地にした。額材は軽量化のため桐、前面は亚克力。

DIYに挑戦したい方、使用した図面があります。簡単なサイズを掲載したものですが参考にしたい方はご連絡を。(投稿・西野(悌)) (注)DIY: Do It Yourself 自分自身で作ったり修繕したりすること

## ■ 澄川の自然 39

### ハクウンボク (白雲木)・エゴノキ科

8月の「澄川の自然」で、この白雲木を何年も観察してきて、初めて今年、満開の花を咲かせて感動と紹介しましたが悲劇が起きました。

9月の末、樹木園に作業があり中流橋から土手を登ってみると、白雲木にシラカンバの木が覆い被さって、崖の淵にへばり付く様に、やっと立っていた白雲木が根元からひっくり返る様な状態になっていました。この白雲木の数メートル先の、土手の上にあったシラカンバが強い風に煽られた様で、中折れしてまともに白雲木を襲いました。

「沢沿いには手を入れない」と言われていたのですが、今までずっと我が子のように見てきた木を何とかして助けてほしくて仲間有志にお願いしたところ、白雲木保護班が立ち上がり、写真の様に崖の足元に土を入れ、土留めをし、中折れしたシラカンバの根元からロープで白雲木を固定しました。

素晴らしい作業をしていただきました。ありがとうございます。来春、どの枝でもいいので芽吹いてほしいです。切に祈ります。(文/写真・西野(澄))



### 新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

#### ◆ かさい しげゆき 葛西 重幸さん (73歳)

協会員が講師のパソコン教室にて勧められ体験参加後、同じ世代の方が多し事から直ぐに入会されました。森や自然が大好きで、パソコン猛勉強中です。皆さん森でお会ししたら是非声をかけてください。

#### ◆ まし けいご 岸 慶悟さん (22歳)

登山や山歩きが好きで入会しました。北海道大学文化人類学研究室に在籍中です。専攻している関係から皆さんにインタビューして研究に役立てたいとも思っています。関西訛りがないので意外でしたが兵庫出身のナイスガイです。皆さんよろしくお願ひします。

## ■ 今月の幹事会

出席者(11/9):大窪・樫棒・加藤・清澤・釣井・西野(澄)・松藤・三橋

1. 2022年12月、2023年1月活動スケジュール(12月幹事会12月7日(水)):了承
2. 2022年10月末会計報告:了承
3. 2022年度森林・山林多面交付金事業10月活動報告:了承。
4. 「2023澄川基本計画(第5次5ヵ年目標)」検討チーム立ち上げ:清澤、大窪、松藤が中心他3,4名。
5. 2023年度の活動内容:活動地、助成先の確認。次期幹事の補充3名程。活動日数は10日程減。土日活動日は月に3回程。
6. 第5回親子森林教室 秋の大運動会 報告:了承
7. 2023年度(第八期)親子森林教室の活動計画案:募集人員15名程度、全7回などを了承。
8. 第二回理事会報告:了承
9. 20周年記念式典報告:会計報告は、ほぼ予定通り。了承
10. 現場報告
  - ・10/8 オイスカ・ユネスコ植樹祭支援:参加者は満足していた。次年度の植栽本数検討。
  - ・10/13 秋の清掃活動:総量1.6t、相変わらず多い。澄川南小、じょうてつ社員の協力大。
  - ・10/6,13,20,31 澄川南小学校野外活動支援:順調に推移。
  - ・10/22 京セラCSR活動報告:9名が参加。整理伐、マキ割り、散策を楽しみました。
  - ・整理伐状況報告:D-5,7順調に推移。E-8区調査中。
11. その他
  - ・2023年二十周年記念特別研修旅行:2023年10月後半or11月前半実施。今後も意見収集。
  - ・トム・ソーヤスクール企画コンテスト支援金の使途:ヘルメット、スノーシュー、ハーニングペンなどを購入し学校寄贈。

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
10月16日(日)	澄川	18	第5回親子森林教室(秋の大運動会)
10月18日(火)	有明(最終)	7	食害防止網撤去、小屋屋根シート撤去、生長調査
10月20日(木)	澄川	16	樹木保全、澄川南小4年観察会支援、駐車場整備
10月22日(土)	澄川	19	D-5,7整理伐、樹木園整備、京セラCSR活動支援
10月24日(月)	野幌道有林(最終)	12	植栽(針葉樹10本、広葉樹129本)
10月27日(木)	澄川	17	チェーン・刈払い機安全講習、D-5,7整理伐
10月29日(土)	ラズ生活研究センター2F	6	臨時幹事会(理事会資料確認)
10月31日(月)	澄川	15	D-5,7整理伐、澄川南小6年卒業記念植樹
11月2日(水)	アークス本社ビル4F会議室	7	2022年度第2回理事会
11月4日(金)	澄川	18	D-5,7整理伐、E-8整理伐選木、親子森林教室打合せ
11月6日(日)	澄川	18	D-5,7整理伐、E-8整理伐選木、E-8モニタリング調査
11月9日(水)	ラズビル地下会議室	8	11月幹事会
11月12日(土)	澄川	13	D-5,7整理伐・集材、E-8整理伐選木、E-8モニタリング調査
11月15日(火)	澄川	22	D-5,7整理伐・集材、E-1,2標準木調査